櫻と狆と愛國心

コスモポリタンの心理

堺利彦

青空文庫

一體コスモポリタンといふ言葉の正確な意義はどういふのだらう。私には先づ此の疑問が起つた。そこで『井上英和辭典』を引いて見ると、斯うある。

名詞＝四海を家とする人。一所不住の人。世界的の人。世界主義者。

形容詞＝世界主義の。宇宙的。非地方的。四海を家とする。一所不住の。一視同仁の。國家的觀念を超脱せる。

之で大抵分るには分つたが、更にセンチユリー・ヂクシヨナリーを引いて見ると、斯うある。

名詞＝One who has no fixed residence（一定の住所を持たぬ人）、one who is free from provincial or national prejudices（地方的又は國家的偏見を離脱した人）、one ewho is at home in every place（如何なる場所をも我家とする人）、a citizen of the world（世界の民）。

形容詞＝〔一〕Belonging to all parts of the world（世界總ての部分に屬する）、limited or restricted to no one part of the social, political, economical, or intellectual world（社交界、政治界、經濟界、又は知識界の如何なる部分にも制限されざる）、limited to no place, country, or group of individuals bu common to all（如何なる場所、國、又は個人の集團にも制限されず、其の一切に共通なる）。〔二〕Free from m」」 local, or national ideas, prejudices, or attachments（地方的又は國家的の思想、偏見、又は愛着から離脱したる。〔三〕Widely distributed over the globe, said of plants and animals）廣く全地球上に分布されたる。植物及び動物について云ふ。）

之だけ讀んだので此の言葉の意義内容が私の頭の中にハツキリして來た。大和魂を表象する、朝日に匂ふ山櫻がコスモポリタン植物でない事は無論である。大日本の妾宅用に制限された狆君が、コスモポリタン動物でない事も亦無論である。日本主義者、帝國主義者、國家主義者、愛國者、國自慢者などがコスモポリタン人でない事も亦實に無論である。

然し私自身はどうだ。コスモポリタンか否か。

私は今、私の少年時代の事を思ひだす。明治十九年、私が初めて九州から東京に遊學に來た時、私の友人や先輩の學生間に、よく斯ういふ話のあつた事を覺えてゐる。『あいつは他國人に交際してゐる。』『あの男は他縣人と懇意にして居る。』そしてそれがいつも批難の意味を含んでゐた。然し其頃はもうさういふ事で他人を批難するのは馬鹿々々しいといふ意見を持つてゐる學生の方が多かつた。只だ舊藩の因縁に執着する元氣な豪傑連や、小さな愛國者達が、他の堕落したコスモポリタンを批難するのであつた。私はいつのまにか其のコスモポリタンになつて、同郷人とよりも、他國人と、餘計に交際するやうになつてゐた。私は其時正に、日本國といふ範圍内に在つては、同郷、同藩、同縣などいふ地方的偏見から離脱したコスモポリタンであつた。

然し日清戰爭の起つた頃には、私は一個の愛國者であつた。『同郷』『同藩』といふ事から何等の利益も保護も受けなくなると共に、日本國内に於ける私のコスモポリタニズムはいよ〳〵徹底してゐたが、世界列國といふものに對しては、依然として多量の排外的感情を持つ

てゐた。若し其時『日本帝國』から何程の利益と保護とを受けてゐるのかと問はれたら、返事には當惑するほどのミジメな貧乏生活を送つてゐた癖に。

所が、それから十年立つて日露戰爭が起つた時、私は既に非戰論者として×國心を嘲笑してゐた。私は日本國民として、日本國土の極小の一部分すらも分ち與へられて居ない事を知つてゐた。尤も、私の父は初め小さな士族として、家屋と、宅地と、其の周圍の少しの山と、金祿公債證書の何百圓かを所有してゐたが、私が家督を相續した頃には、公債が無くなつたばかりでなく多少の借金があり、家屋と地所とは全部で金七十圓に賣却したのであつた。だから私が其時、日本國民として所有する物は、只だ僅かの家具と、僅かの本と、僅かの衣服類とに過ぎなかつた。そして僅かに文筆勞働に依つて衣食するのであつた。從つて私は、其の以前に同鄉的愛着、同藩的偏見を失つたと同じやうに、今は次第に國民的愛着、國家的偏見を失つたのであつた。そして其後、現在に至るまで、此の本統のコスモポリニズムは私の心中に層一層の徹底を爲し來つてゐるのである。

センチユリー・ヂクシヨナリーに、形容詞としてコスモポリタンといふ言葉の用例が擧げてある。

Capital is becoming more and more cosmopolitan —— J. S. Mill.

資本はいよ〳〵ます〳〵コスモポリタンとなりつゝある。ジエー・エス・ミル。

資本がコスモポリタンとなれば勞働もコスモポリタンになる筈である。資本の勢力、資本

の搾取力がコスモポリタンになれば、それに對抗する勞働運動も同じくコスモポリタンになる筈である。從つて又勞働運動者の心理がコスモポリタンになるのは當然である。

但し、資本は一面に於いて猶ほ大いに國家的であるから國際戰爭も起り、從つて又、國家的社會主義者もあり、コスモポリタンに成り得ざる心理の働きがそこに在る。アメリカの資本家に搾取されるのも、日本の資本家に搾取されるのも同じわけだが、日本の勞働者としては、全く『同じわけ』に行かない心理が殘つてゐる。だからまだ世間に半煮えのコスモポリタンが多い。

私自身としては、正に一個のコスモポリタンだと信じてゐる。然し私は『一所不在』でない。明かに日本東京に居住してゐる。又海外に旅行した事も殆んどない。『四海を家とする』ほどの廣い心持もない。國語と風俗と人種との關係上、世界の有らゆる國民、有らゆる人種に對して、『一視同仁』といふほどの、全く同じ親しみを感じ得るとは云へない。從つて又、『地方的又は國家的の偏見』からは離脫してゐる積りだけれども、日本人と、日本語と、日本の風俗と自然とに對して、まだ可なり多くの『愛着』を持つている事は爭はれない。

青空文庫情報

底本：「現代ユウモア全集　第二巻　堺利彦集」現代ユウモア全集刊行會
　　1928（昭和3）年10月20日発行
入力：Juki
校正：染川隆俊
2011年5月3日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

櫻と狆と愛國心
コスモポリタンの心理

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　堺利彦
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/